

【東京芸術劇場】 指定管理者提案書類(事業計画書) 概要

1. 管理運営の基本方針

■基本方針

《ミッション》

- ・芸術文化の創造・発信の拠点: 作品創造と国内外への発信
- ・人材育成の拠点: 舞台芸術の現場を支える人材の育成
- ・教育普及の拠点: 子供たちへ本物の舞台芸術を伝達
- ・賑わいの拠点: 誰にとっても楽しく賑わいのある空間の創出

■館の機能の総合的な発揮

- ・複合施設としての特性を活かした事業展開
各ホールを単独で利用するだけでなく、複数のホール等を同時に利用する公演等を展開
- ・文化拠点の中核施設として
東京の芸術文化を代表する顔として、また池袋のランドマークとして、豊島区や近隣教育機関と連携した取組を展開

■東京文化ビジョンの実現に向けた取組

文化戦略1	東京を代表する音楽・舞台芸術の拠点として、創造的な作品を制作、国内外の良質な作品を提供	文化戦略5	海外の劇場との連携による共同制作、作品の招聘、東京芸術劇場の作品の海外公演
文化戦略2	豊島区との連携、池袋に新しい観客を集める取組を推進	文化戦略6	ワークショップ等による体験やふれあいを通じた社会包摂
文化戦略4	新進アーティストの発掘・育成、劇場を支える人材の育成	文化戦略8	舞台芸術の上演活動や教育普及活動を都内及び地方へも還元できるネットワークの構築

■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた運営戦略と取組

・2020年以降もレガシーとして次代に継承されるような、多彩で魅力的な事業を展開

《戦略》

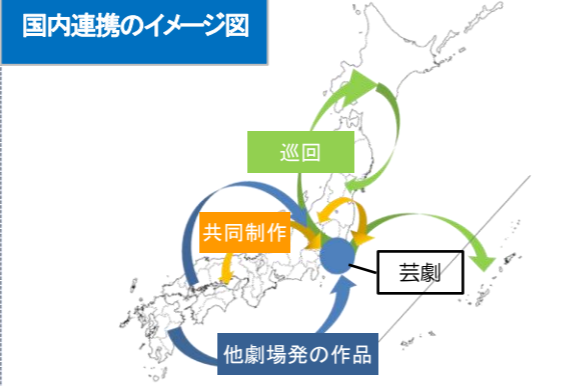
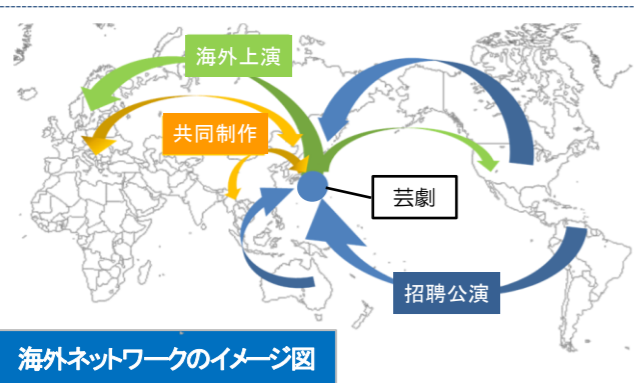
- ・広く都民が質の高い芸術文化に触れる機会を創出
- ・複合文化施設としての機能を最大限に活用:
舞台芸術、音楽、伝統芸能など複合的な芸術の祭典
- ・豊島区との連携: 観光、産業分野を巻き込んだフェスティバル

《取組》

- ・東京芸術祭の拠点会場: 海外劇場との共同制作、世界の一流芸術家との交流、若手芸術家の育成など
- ・池袋を文化拠点の一つとして確立: 地域との連携プログラムを展開

■国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)

海外	海外作品の招聘、芸劇作品の海外公演、共同制作	地域	豊島区や近隣教育機関等との連携による賑わいづくり
国内	共同制作・企画協力、他劇場発の作品の紹介	財団内	ホール: 技術・ノウハウの共有、予約システムの共有、共同制作 美術館等: 関連テーマのコンサートの開催、共通広報
都内	公共文化施設との関係強化(協同した事業展開、他劇場への助言、相談など)		
音楽	国内劇場とのシアターオペラ共同制作、海外の劇場等との連携		
舞台芸術	国内外の劇場との共同制作、作品招聘、東京芸術劇場の作品公演		
人材育成	国内の音楽大学フェスティバル、世界の音楽大学との交流へ発展		



《基本方針》

1. 「東京文化ビジョン」等に基づく着実な事業推進
2. 劇場法の理念に基づく劇場運営
3. 安全・安心の確保
4. 顧客満足度の高いサービスの提供
5. 地域に根差した劇場運営
6. 効果的で効率的な管理運営
7. コンプライアンスの徹底

2. 事業に関する業務

■芸術文化の振興に関する事業

- 創造発信
創造的な自主事業と戦略的な貸館運営
- ・音楽: 共同制作を通じた全国の公共劇場とのネットワーク構築、若い才能による創造活動を支援、ホールのブランド力向上
- ・舞台芸術: 東京の現代演劇の面白さを世界へアピール、コンテンポラリーダンスの創造発信、若手演劇人の創造活動を支援

○教育普及

- ・芸術文化に触れる機会の創出: ユニークなパイプオルガンの活用、ターゲット別のチケット割引
- ・子供の豊かな感性を育む事業: 子供の想像力や創造力を刺激する公演事業の継続的展開
- ・参加、体験型の教育普及活動: 公演事業に関連したワークショップ等の開催



○人材育成

- ・人材育成事業: 次代を担う実演家、制作・舞台技術・マネジメント等の専門人材の育成
- ・教育的公演事業: 将来を期待される才能の継続的育成、作品創造等の機会の提供



○賑わいの創出

- ・アトリウム等の活用、地域との連携、地元イベント支援

©Hikaru. ☆

3. 館の運営に関する業務

■休館日及び開館時間

- ・現行の開館時間を基準とし、公演状況に応じ柔軟に対応
- ・月1~2日の定期点検と、年に1週間程度の法定点検休館

■館内サービス

- ・レセプション、ロッカー、救護室等の設置、運用
- ・バリアフリー: エレベーター、多目的トイレ等の設置
- ・外国人へのサービス向上:
チラシ等の多言語対応、海外からのチケット購入の促進
- ・ショップ・レストランの運営 ・託児施設、駐車場
- ・お客様の立場に立った柔軟で適切なサービスの提供
- ・お客様の意見・苦情への迅速な対応

■施設の利用

- 実施方針
 - ・ホールの利用促進と公演の質の向上
 - ・利用者に親しまれる劇場運営: 利用者が意図した成果を得られるよう、ともに考えサポート

○舞台運営業務

- ・安全・確実なサービスの提供 ・利用しやすい環境維持
- ・舞台技術水準の維持・向上 ・舞台技術スタッフの育成

■調査研究の取組

- ・公共劇場の運営、公演アーカイブ構築の調査研究

■館の事業を支える仕組み

- 広報: ブランディング確立と来館促進を図る
 - ・広報ツールの多角化と各ツールの活性化
 - ・地域やネットワークを通じたきめ細かな広報活動

○来館を促進する取組

- ・マーケティング戦略構築: ニーズと満足度のモニタリング
- ・地域との連携により近隣住民への訴求力向上
- ・チケット販売サービス・メルマガ会員システムの拡充

- 外部意見等の取り入れ: 運営委員会、利用選考委員会、企画会議・企画分科会、外部評価委員会等を設置

- ニーズの把握と対応: 顧客満足度調査や各種アンケート等によるニーズ把握、非利用者調査による施設に対する一般のイメージと実態のズレの確認と対応策の検討

○外部資金の導入

- ・協賛金、寄付金、助成金の獲得
- ・撮影協力・広告等による収入源の多様化

4. 組織及び人材

- ・高度な専門性と豊富な実務経験を有する人材を適材適所に配置
- ・文化施設運営のプロフェッショナル集団として業務の質の維持向上
- ・各種の業務別研修、他館との情報交換、同種の専門職員による事例研究等の実施

5. 館の管理その他に関する業務

■館の管理

- 施設等の管理業務: これまでの経験や実績を生かし、安全性を確保した施設・舞台を提供するための適切な維持管理

- 危機管理: 災害対応力を備え、来館者・職員の生命及び後世に継承させていくべき文化資源を守る

- ・お客様の安全確保: 危機管理マニュアルに基づく対応、テロ等の人的災害への対策
- ・大規模災害発生時: 都立施設に求められる一時滞在施設等の役割を適切に果たす

■地域等との連携の取組

- ・「東京芸術祭」の拠点となり、祭典としてのブランド化を推進
- ・豊島区や近隣教育機関等と連携した地域の活性化、賑わいの創出等を通して、周辺地域への芸術文化の浸透を図る